

令和2年東通村消防団出初式

1月7日（火）、東通村体育館駐車場を会場に、令和2年東通村消防団出初式が行われました。

東通村消防団271名は、坂本義彦副団長の指揮の下、特別参加の下北試験場消防隊とともに越善靖夫村長の観閲を受け、防火・防災への気持ちを新たにしました。

式では、昨年末急逝した上路政光東通村消防団長に黙祷を捧げ、参集した団員の現況報告・通常点検が行われた後、越善村長ほか関係者が砂子又八幡宮へ拝礼し、今年1年の無災害を祈願しました。

続いて、東通村防災センター前で終わった分列行進では、



観閲する越善村長

坂本副団長を先頭に3大隊に分かれた団員が堂々と行進。続いて行われた纏振り演技では、力強く華麗な纏振りが披露されました。

坂本副団長からは「不屈の消防精神のもと、地域住民の強い信頼に応えるため、なお一層の訓練に励み消防人としての自覚と誇りを忘れることなく、日常活動に精励したい」と決意が述べられ、越善村長は「東通村消防団の伝統を大切にしながらも、引き続き、消防署との連携をもつて、日々の訓練と消防活動に精励されるよう強く願います」と訓示しました。



現況報告をする坂本副団長



坂本副団長の指揮のもと一糸乱れぬ分列行進



砂子又八幡宮にて無災害を祈願



整然と並ぶ団員



力強く華麗な纏振り